

# 徳島市医師会 在宅医療市民公開講座 シンポジウムについて

## 1. タイムテーブル

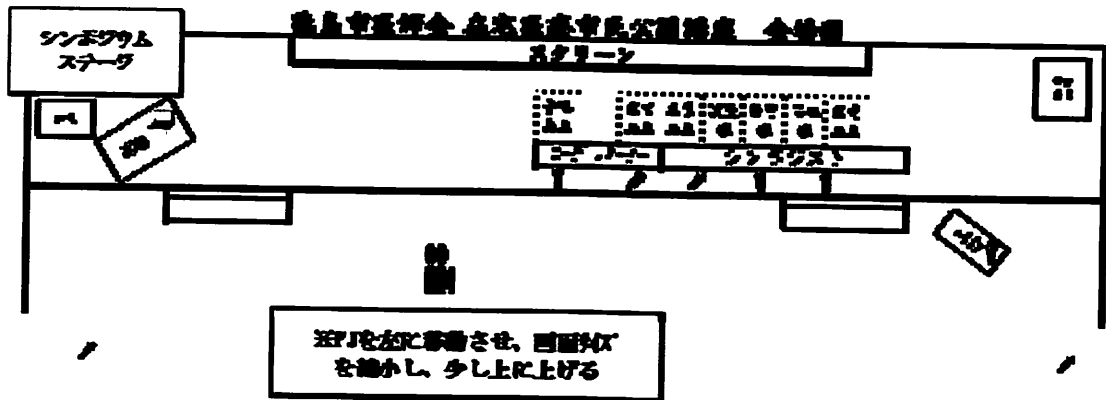
19:30～ [第三部] シンポジウム(30分)

コーディネーター 徳島市医師会在宅医療連携委員長 豊田健二 先生  
徳島県立中央病院 臨床腫瘍科部長 寺嶋吉保 先生

シンポジスト 鶴岡地区医師会長 三原一郎 先生  
在宅医療連携拠点事業室ほたる 相談員 渡邊 田鶴子 様  
徳島市医師会長 豊崎 纏 先生  
徳島県保健福祉部 医療健康総局 次長 石本寛子 様  
徳島市保健福祉部介護・ながいき課長補佐 西野和男 様

※1名質疑  
～20:00 終了

## 2. 配置図



## 3. Q&A

Q：独り暮らしでも在宅医療は可能ですか？ [78歳 女性 他12名]

A：豊田先生：可能。それぞれに持っている病気によって多少は違って来るかもしれませんが、おうちで医療を継続することは十分可能です。

医療：医師が定期的に訪問、調子が悪い時には緊急で往診。点滴が必要だったり、傷などに対して処置が必要な場合は訪問看護師。

独り暮らしの場合は、どちらかと言うと、その人の生活を支えることが大事。生活を支えるためには介護保険の利用が欠かせない。介護保険制度を利用しながら、訪問診療や訪問看護を受けて家で生活をしている方はたくさんいる。まず、介護保険を申請し介護保険が受けられるようにしてから居宅介護支援事業所でケアマネ（その人にとって適切な介護保険のサービスを考える立場）を紹介してもらい、介護保険を利用しましょう。

### 【介護認定が受けられなかった場合のサポート】

西野様：※徳島市における在宅サービス事業、地域包括の紹介 等

豊崎会長：※徳島市より委託を受けた地域包括の説明 等

### 【行政からのサポート（独り暮らしに対して）】

徳島市：

徳島県：

Q：おじいちゃんを家で見てあげたいのですが、自分も病気を抱えていて悩んでいます。それでも、家で見てあげることにはできるでしょうか？〔52歳 女性 他5名〕

A：豊田先生：可能。この方の病気やおじいちゃんの病気の状況が書かれていないので絶対的なことは言えませんが、基本的には可能だと思います。

レスパイトケア：介護者の息抜きや休養。家で病気の方をずっと見ることは健康である介護者にとっても大変なこと。ましてや介護される方もある程度の病気があれば、さぞ大変でしょう。介護保険制度では病気の人を介護者に対して、時々息抜きを提案する制度が設けられていてレスパイトケアという。具体的には、ショートステイ、デイサービスなど。療養病床にレスパイト入院なども可。

### 【行政で何かレスパイトに関する取り組みは？】

徳島県：

徳島市：

Q：夫ががんで入院中ですが、家に帰りたがっています。酸素を吸ったり、麻薬を使っているのですが、家に帰れますか？〔68歳 女性 他3名〕

A：寺嶋先生：がん診療連携拠点病院緩和ケア科の立場から。

豊田先生：最近では家でもかなり高度な医療が受けられるようになってきています。もちろん、酸素も在宅酸素といって家でも利用可能。酸素を取り扱っている業者も24時間対応していますから、急に酸素が必要になった時や機械の不具合なんかでも迅速に対応してくれます。医療用麻薬の治療を受けていても、家で継続して治療は十分可能で、飲み薬やはり薬だけでなく、24時間点滴して痛みをコントロールすることも可能になってきています。麻薬を取り扱う調剤薬局も増えてきていて薬を家まで届けてくれる薬局もたくさんあります。最近では医療機器も小型化されてきているので、それ以外にも、家でも様々な処置ができるようになってきています。

Q：家に帰りたいのですが、急に病気が悪くなった時のことを考えると、不安で踏み切れません。〔72歳 男性 他2名〕

A：豊田先生：これは家に帰ることを考えたときに、一番不安に感じることの1つだと思います。まず、在宅医療をやっている、患者さんが家で安心して過ごせるようにするために心がけていることは、病気の変化の予測をしておくことだと思う。持っている病気が悪くなったことも含めて、「こんな時はこうする」とかこうなればこう対応する」とか事前に予測しておいて、対応策を決めておくことが大事。それから、病気が悪くなってどうしても家でいることが困難になったら、元入院していた医療機関に再入院。もし、元入院していた医療機関が一杯で入院できなかったら、徳島市医師会では在宅医療に対する後方支援病院ネットワークというのを作っています。徳島市内の20の病院が参加していて、在宅で診ている方が悪くなって急に入院が必要となったら、そのうちのいずれかの病院が緊急で入院の対応をしてくれることになっています。

### 【山形県鶴岡地区では在宅医療の後方支援はどのように整備されていますか？】

鶴岡地区医師会：

Q：山形県鶴岡地区医師会のホームページを見ました。インターネットを使って患者の情報を病院や診療所の先生や訪問看護師などみんなで共有しているとのことで、自分の治療内容が医療者の皆さんに知っていただいていることは安心できますが、個人情報のことが気になります。これから全国的にもインターネットで患者情報を共有するようになってくると思いますが、個人情報は漏れたりしませんか？。〔59歳 男性 他4名〕

鶴岡地区医師会：

Q：現在、在宅医療に対して行政（徳島県、徳島市）はどのように取り組み、今後どのようにしていこうと思っていますか。〔76歳 男性 他8名〕

徳島県：

徳島市：

#### 4. 流れ

事前質問をスライドに映しながら、シポジストの方にご回答及びご説明をして頂きます。順番は当日までに変更することが予想されます。最後に、1名参加者からの質疑を行います。